

介護・医療連携推進会議開催報告書

2016年 4月 29日

事業所名	定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所 至誠堂ホームケア24		
担当者	鈴木 悦子	電話番号	023(687)0733
1 開催日時	2016年 4月 25日		14:30 ~ 16:00
2 開催場所	山形市旅籠町1-7-23 至誠堂総合ケアセンター会議室		
3 出席者	出欠		
(2) 委員 12人中8人出席	×	H・A氏	利用者の家族
	○	M・S氏	利用者の家族
	○	K・k氏	木の実町6区町内会副会長
	○	K・M氏	旅籠町一番組町内会長
	○	S・T氏	第一地区社会福祉協議会会長
	×	N・T氏	第四地区社会福祉協議会会長
	○	A・I氏	至誠堂総合病院副院長
	×	M・N氏	至誠堂総合病院医療相談室係長
	○	K・S氏	至誠堂訪問サービスセンターコスモス所長
	○	S・T氏	さくら地域包括支援センター 社会福祉士(センター長代理)
	×	H・N氏	同上
	○	S・O氏	地域包括支援センターかがやき 社会福祉士(センター長)
(3) 事務局 4人出席	鈴木 悦子	至誠堂ホームケア24管理者・所長(看護師)	
	細谷 美佳	同 主任(計画作成責任者)	
	海鋒 英美	同 責任者	
	長尾 尚佳	至誠堂総合ケアセンター事務長	
4 活動状況報告	別紙のとおり		
5 活動状況に関する評価	<p>①平成28年1～3月期の活動報告(市提出様式2号)。②1～3月の事業概要として、(利用者の概要、利用件数、訪問地域、遠隔時訪問の実績報告等)の報告及びサービス提供にあたっての具体的な事例報告。③利用者満足度調査を行っての結果報告とそれらに対する事業所内分析結果・今後の課題等の報告を行った。調査項目について質問形式が『大変良い・良い・普通・悪い』との返答の仕方だったため、返答しづらいとの意見が出された。率直な意見をフリーに記載できるような評価の仕方が良いのではとの意見が出された。④平成27年度の事業まとめと次年度への課題について、目標件数20件に到達する事が出来なかった要因として、まだまだ認知度が低い事、新規の介護施設が開業している事などがあげられる。しかし、具体的に事業を採算ベースにのせるには「利用者増を狙うのか?」または「スタッフを減らすのか?」との質問が出された。定期巡回・随時対応型訪問介護看護の特性をアピールし在宅介護推進のサービスとして期待しているとの意見が聞かれた。周知活動を行っていく上で具体的なサービスの実例等を紹介したらいいのではないかと意見が出された。⑤サービスを利用しているご家族からは、訪問した際に本人の状況に合わせて臨機応変に対応してくれる事にありがたいとの言葉を頂いた。</p>		
6 要望、助言	<p>① 訪問状況について日中・夜間だけの資料となっているが、日中・準夜帯・深夜帯で分析する事で、時間の混雑状況等がはっきり見えてくるのではないかと。</p> <p>② 利用者満足度調査の質問項目について、利用者の率直な意見を伺えるように内容の検討が必要ではないかと。</p> <p>③ 事業を採算ベースにのせるには、『利用者増を狙うのか?スタッフ減を検討するのか?』</p> <p>④ 周知活動について、他事業所からホームケア24に期待する事を直に伺う事も必要ではないかと。</p> <p>⑤ 定期巡回随時対応型訪問介護看護の特性を生かしたアピールの必要性があるのではないかと。</p> <p>⑥</p>		
7 要望、助言に対する考え方	<p>① 日中・準夜帯・深夜帯と分けての資料にする事で、混雑状況等をより詳しく他事業所へ伝える事が出来るため、今後検討していきたい。</p> <p>② 次回調査時には、もっと利用者様やご家族様の率直な意見を伺えるように調査項目を再度検討していきたい。</p> <p>③ 現時点でのスタッフ減が考えていない。周知活動について、再度考慮し利用者様増できるように努めていきたい。</p> <p>④ 居宅介護事業所や地域包括センターへの認知度アップの活動を行ってきたが、逆の立場からの求める事やこちらに期待する事等を伺うような活動も検討したい。</p> <p>⑤ これまで何件かのターミナルの方の利用があったため、ターミナルでも自宅で安楽に過ごす事ができるという点を中心にアピールしていきたいと思う。</p> <p>⑥</p>		
8 その他特記事項	<p>① 次回第2回会議は、2016年7月25日(月)14時30分より至誠堂総合ケアセンター会議室で開催する。</p>		